

方法そのものにはあまり抵抗を感じていないようである。また、目新しさに喜ぶ学生もいて計算機の利用を促進するという意味でもいい機会になっているようである。さらに興味を持ってくれる学生は、教材をもとに一生懸命考えてくれるので作りがいがある。

ただ、私自身が作った教材にはまだ改善の余地があるようで、ウェブページを見た学生が「わかりにくい」といって直接私のところに足を運んでくること

がある。ほとんどの学生に対して十分アピールする内容に更新していく努力を続けたいと考えている。

我々の研究室のウェブページ (URL は <http://buran.u-gakugei.ac.jp/EDU.html>) でソースも含めて公開しているので、興味を持たれた方は是非とも御覧頂き御意見を賜りたい。

末筆ながら、忍耐強く改稿に対応してくださった担当委員の方にこの場を借りて感謝申し上げたい。

情報の広場

603 (気象業務)

平成10年版気象白書「今日の気象業務」刊行のお知らせ*

気象庁広報室**

気象庁は、平成10年版「今日の気象業務」(通称「気象白書」)を発表しました。

本書は、「大地の鼓動 大気の躍動 大洋の脈動」をサブタイトルとして、3部構成となっています。1997年から98年の大規模なエルニーニョ現象や世界的な異常気象等により国内外の社会・経済活動が大きく影響を受けており、気候情報の充実への期待が高まってきていることから、第1部のテーマを「異常気象と気候情報」として、昨年発生したエルニーニョ現象や異常気象の動向、気候監視や季節予報の現状に加え、エルニーニョ現象や気候の予測モデル開発等、気象庁が中

長期的な視点で取り組んでいる課題について特集しています。第2部では、防災対策等の広範な活動に基盤的情報として気象情報を提供する気象業務の現状と新たな取り組みを中心に、また、第3部は、最近の気象、地震等の状況を取りまとめています。作成にあたり、できるだけわかりやすくかつ簡素な表現を心がけ、図表を多用しました。

CD-ROM版では、書籍版平成10年版及び9年版に加えて、7年版及び8年版の抜粋、さらに「気象庁アジア太平洋地上天気図」・「静止気象衛星ひまわり5号の衛星画像」・「地球温暖化予測情報」など動画を交えて収録しています。

本書は、政府刊行物サービスセンターや全国の主要書店で2,793円(税込み)で、また、CD-ROM版は5,775円(税込み)で販売されています。

* Publication of White Paper on the Meteorological Service

**Japan Meteorological Agency Public Relations Office